#### 額免除を ちとろ

左上

住民の不安を無視し飛来したオスプレ

に抗議する監視団



#### 【発行】

厚木基地爆音防止期成同盟

発行責任者 大 波 修 事務所 大和市桜森 3-5-3 フォント 1F TEL 046-240-7450 FAX 046-261-5615

bakudou@kanagawa.email.ne.jp

V がある」と大和・綾瀬両市に通告 るオスプレイの飛来は容認できな しました。通告を受けた両市長は .強行配備されたオスプレイが東 」と反対の姿勢を示しました。 22オスプレイ(垂直離着陸輸送 2年前に沖縄の米軍普天間基地 が厚木基地に飛来する可能性 月9日、 「市民の負担増加につなが 防衛省は 「米軍の M

と強く訴えました。 訪れ、 防衛局、 日本に飛来するのは初めてであり、 レイの飛来は断じて認められない」 たな不安と爆音をもたらすオスプ める抗議文」を手渡し、 ターと連帯し、7月11日に南関東 や県央共闘、 厚木爆同は第四次厚木爆音訴訟団 「オスプレイの飛来中止を求 14日に米海軍厚木基地を 神奈川平和運動セン 「住民に新

(右下) 反オスプレイを訴え 大和市内をデモ行進

南関東防衛局前で怒りのシュ

すが、 空域は存在しないのです。 ではありません。というより、 衛隊の訓練区域が重なるところで の空域は米軍の横田管制と航空自 馬県上空で訓練をしています。 位協定上必要な取り決めがないた 本土上空で米軍が訓練できる 木基地所属の艦載機は主に群 本来米軍が訓練できる空域 击 地

練をするようになり、 訓練区域を自衛隊は使用してい 六二名の犠牲者をだしました。 の自衛隊機が全日空機に衝突し、 71年に岩手県雫石の上空で訓練 自衛隊は主に海上で訓 実際、 群 馬

上空に、 を無視して7月15日午後3時30分、 の爆音を轟かせオスプレイが現れ 団と共同して滑走路の南北に騒音 オスプレイ1機がついに厚木基地 反の飛行はやめろ!」と一斉に抗 ると、「オスプレイは帰れ!」「新 動を行いました。 測定機を設置し、 議の声が沸き起こりました。 たな爆音は許さないぞ!」 こうした地元自治体や住民の声 飛来しました。 回転翼を上に向け重低音 爆同は四次訴訟 基地北側住宅地 約50人で監視行 「合意違 にようやく飛び去りました。

過ぎても厚木基地に留まり、 さらに3機は帰還予定日の23日を 街地上空で夜間飛行を行いました。 ました。 連日連夜、 までの訓練期間中、 通告していましたが、 習場での訓練のため立ち寄る」と 元自治体に かのように8月18日には4機が厚 まる中、 オスプレイ飛来に対する反発が強 起こしかねない危険な飛行でした。 されており、この日の飛行は 木基地に飛来しました。米軍は地 かに日米合意に違反し墜落事故を 基地外では回転翼を真上に向ける 『直離着陸モードは原則禁止』と オスプレ そして東日本で初めて市 住民の不安を逆なでする 厚木基地に駐機してい イの 「東富士・北富士両演 飛行は日米合意で オスプレイは 実際は23日 25 日

スフェスケ

2014 in 大和・綾瀬

大和駅東ロプロムナ-

◎模擬店コーナー

パネル各種展示

◎ピース・コンサートなど

10月11日(土) 10:00~15:00

◎アジアの平和と基地問題を考える

です。 練は違法ですから、 練に限らず本土上空での米軍の訓 ません。 で基地間の 借りていた米軍です。ここでの訓 に土足で入り込んできたのが庇を この空き家になった母屋 移動と答弁してきたの 政府はこれま

に伴い低空飛行訓練ルートを明ら かにしました。これは大変な問題 民 自衛隊の訓練空域を使うのと違い、 (間の資材運搬ヘリや災害対応へ が ところが米軍はオスプレイ配備 飛ぶ一 わば犯行宣言です。 般の 山間部です。 しかも 政 府

厚木 ず、 オスプレイ運用の拠点とする りました。 は訓練は駐留に付き物だと開き直 ちはオスプレイの飛来に慣らさ 訓練の拠点とするものです。 訓練を行うため、 民に拡げ、 諦めず、 そして今、 抗議の声を多くの 厚木基式

再三にわたるオスプレイの

飛来は、 とし日本全土でオスプレイの飛 おり強く闘い続けまし 厚木基地を本土 を口 私た 動 地 を 市 れ 実

## 「沖縄の負担軽減」

ろ米軍はイタリアでの訓練自体を で米軍機がゴンドラのケーブルを は伊軍の許可が必要」としたとこ たイタリア政府が 切断し20人が死亡しました。 が強まっています。 やめてしまったそうです。 15年程前、イタリアの 「低空飛行訓 スキ 怒っ 練 場

誰のために行われているのでしょ 実施計画さえ公表されませんが、  $\mathcal{O}$ 国民に犠牲を強いてまで行う米軍 飛行 日本では自衛隊の許可どころ 訓練とは、 体何を想定し

、爆同書記次長 ・小林 正幸) 米空母艦載機による爆音で、テレビの

(2)

# 厚木爆同はテレビ受信料の全額免除 | ことや聞くことも出来ない状態が続 き、 心身ともに多大なストレスをもた

訪ねて要請を行いました。 成を求める要請」を総務省と防衛省を のNHK受信料の全額免除及び全額助 とし、さる7月28日に「厚木基地周辺 辺自治体への要請行動に取り組むこと にむけ、新たな行動として国と基地周 らしている現状が続いています。 請」は、爆音が解消されるまでの間、 住宅防音工事の対象区域としている75 「NHK受信料の全額免除を求める要

この現状を踏まえ、今回取り組んだ

程調整中)) 及び神奈川県に対して要 自治体(大和市、 を国に求める要請」を厚木基地周辺の 請を行いました。 老名市、藤沢市、町田市、 木基地周辺のNHK受信料の全額免除 厚木基地の周辺住民は、自衛隊機や また8月26日から29日にかけて「厚 綾瀬市、 相模原市 座間市、 日 海 訴訟の判決において、75W値以上につ としたことは、この間の厚木基地爆音 を求めています。 民のNHK受信料を全額免除すること いては、 W以上値のコンター内に住んでいる住

今回、

全額免除の対象区域を75W値

音がかき消され、 普通にテレビを観る

とを根拠としたものです。

た」などの司法判断がなされているこ

「違法爆音である」、「損害賠償を認め

「受忍の限度を超えている」、



受信料全額免除を要請した総務省交渉

一方、

「爆音でテレビの音が聞こえない」と生活妨害の実態を訴え、

前向きな答弁がありました。 等を作成するよう進めていく。」との する。②できる限り早期に放送受信事 討しており、その結果を踏まえて検討 めの基準等を得られるよう有識者が検 送受信事業の助成対象区域を見直すた 省施設調査官から「①平成26年度に放 要請に対しては、総務省企画官と防衛 業の助成対象区域を見直すための基準 また、前述した総務省と防衛省への

の免除区域の拡大や助成の拡大を求め てきているので、 く。」との回答をいただきました。 自治体としてもこの間、NHK受信料 め NHK受信料の全額免除を勝ち取る 会員の皆様のさらなる団結で粘 厚木基地周辺の自治体からは、 引き続き要請してい

強く頑張りましょう

# なる

から日本が脱して、まず日本・韓国・ とは発想を逆にしてアメリカの核の傘

を形成し、近隣核保有国「米・中・ロ」 北朝鮮が中心となって、非核兵器地帯

非核兵器地帯構想は日本が今まで を進める運動であった。政府が集 取り上げられた。その中で注目さ 北朝鮮や中国の脅威であったが、 団的自衛権のとき盛に流したのが 告した北東アジア非核兵器地帯化 れたのがピースデポの湯浅氏が報 集団的自衛権行使容認決定後初め ての大会であったのでその問題が 広島で開催された原水禁大会は

## 厚木基地と集団的 で解決 衛

に安全保障を確保していくというもの である。これによって核兵器によらず にも支持を呼び掛けていくという構想 北東アジア非核構想

## \*(00\*)00\*00\*00\*00\*00\*00\*00\*00\*00\*00\*00\* 訪問支部会議

を掛けて会議を開催した支部もありま の間、 を行い会員の率直な声を聴きました。 課題を設定しないで、 部全領域から特定のエリアを中心に声 た。 爆音解消を訴える声が多く出されまし は全ての人が参加できるようにと、支 機関を動かし静かな空にしよう。」と して欲しい。」「爆同が力をつけて関係 した。訪問支部会議のテーマは特定の 記長・組織部長が出席し開催しました 訪問支部会議を7月11日から8月17日 (大和南2支部は日程調整中)。支部で 出席会員からは「この爆音を何とか 会員の声を組織運営に生かすため 本部から委員長・副委員長・書 年間の活動報告

配布しながら街頭宣伝をするべき。」 の会報から市民向けに編集して街頭で かけをすべきではないか。」「会員中心 「市民に対して丁寧で解りやすい働き いつでも爆同の また活動強化に繋がる提案として 最新情報にアクセス



活発に討論した大和北1支部

努め、新たでユニークな支部活動を展 あった会報にしてほしい。」等の意見 れた会員の要望を実現して組織強化に が続出。こうした訪問支部会議で出さ い。」「会報は支部会員の意識レベルに できるホームページを開設してほし

### 大和 南2支 を選出

開しましょう。

南2支部会員の皆様にご協力いただ 未集金や会報の未配布など、会員の皆 様に大変ご迷惑をおかけしました。 き、 による支部運営が確立されず、 こうした支部の現状を改善するた 大和南2支部は昨年来、 本部三役と組織部会が中心となり 支部組織の再構築に取り組んだ結 地域担当者 会費の

> 土防衛が目的の配備であったのではな ば、厚木基地もオスプレイも要らなく 代表してニューヨークの国連事務総長 大和、藤沢、平塚、大磯など)に達し 署名は現在五四三首長(近くでは川崎、 非核地帯化構想を支持する自治体首長 なる。自由討論で爆同は厚木のP3C 今年四月二八日広島市長、長崎市長が である。すでに現実に動き出している。 いかと報告した。 やP1は集団的自衛権以前から、 に提出した。これが世界の世論となれ 米本

(爆同副委員長・平岡幸雄)

支部組織の強化に取り組みます。 た。今後も支部運営を軌道にのせるに 長に就任され、班体制も確立されまし は多くの課題がありますが、一歩ずつ 神岡元子さん(福田在住) が支部

# 世

#### 1 厚木爆同 「学習会」

日 時 午後2時~4時 10 月 5 日  $\widehat{\mathbb{H}}$ 

場 大和市生涯学習センター

内会 容 ①基地周辺住民と集団的自 権行使について 衛

②NHK受信料問題

師 弁護士 福田 護 氏

講

## 2 厚木爆同 「基地視察」

10 月 25 日

日

畤

土

視察地 ①米空軍横田基地、②横田・基 午前8時~午後6時 地をなくす会と懇談、③航空自 衛隊入間基地

参加費 参加者 人1500円(昼食代他) 名 (支部割り当て)